

【適性科目模擬試験 2023 の正解と解説】

(文献1)「技術者の倫理」(日本技術士会)

(文献2)「第2版 科学技術者の倫理～その考え方と事例」(Harris ほか、日本技術士会訳編、丸善)

(文献3)「第2版 技術者の倫理入門」(杉本泰治・高城重厚著、丸善)

(文献4)「科学技術倫理の事例と考察」(米国 N S P E 倫理審査委員会、日本技術士会訳編、丸善)

● II-1：正解は⑤

※技術士法の3義務2責務に関する出題は毎年されている。

ア：× 独自調査の結果であっても守秘義務を負う

イ：× 事実のみに基づき判断する

ウ：× 登録部門の技術も日々進歩しているので登録部門の知識・技能を重点的に向上させる

● II-2：正解は⑤

ア：感覚的にわかるはず。

イ：「継続」の意味を考えれば自ずとわかる。ここままで正解は絞り込まれる。

ウ：経験則より知見を重視する。

エ：これは悩むところかもしれないが、ガイドラインではこうなっている。

● II-3：正解は②

第一次試験は免除されるが、技術士補登録は申請しないとイケない。

● II-4：正解は③

安全が最重要なのは当然として、次は原価か品質かといえば、当然品質。

● II-5：正解は⑤

参考資料

例：https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/kento208_04_shiryo2.pdf

ア：× 意思表示がなくともハラスメント行為は成り立つ

カ：× 専門知識による優位性も含まれる

● II-6：正解は②

ア：× モラルを規範化したものが倫理、常識を規範化したものが法。

ウ：× 文献1 p.2に「専門的技術に依存する社会は、人格と美徳を有する人を多く必要とする」という主旨の記載がある。

エ：× 功利主義とは、最大多数の最大幸福を求めるもの。

● II-7：正解は①

- ②：× 悪意ある者からのメールである場合もあるので、連絡をとるべきではない。
- ③：× 様子を見ている間に他の人が被害に遭う可能性がある。
- ④：× 添付ファイルを開いている時点で論外。
- ⑤：× 様子を見てはいけない。

● II-8：正解は①

全てが正しい記述である。

● II-9：正解は④

- ①：× たとえよくあることでもデータを偽装してはいけない。
- ②：× 高い期待感を伝えることで恣意的対応を誘導している。
- ③：× 内部告発の手順が間違っている。まず社内、その上で監督省庁。
- ⑤：× 経済活動や技術開発への影響が大きすぎる極端な対応である。

● II-10：正解は⑤

当時の科学技術的知見の範囲内で欠陥が認識できない場合は責任を免れる。

● II-11：正解は③

法的期限を超えてはいけない。

● II-12：正解は⑤

公益通報者保護法に定められている告発先は、告発対象となる組織を所管する官公庁とされている。建設コンサルタントであれば国土交通大臣に登録しており、国交省の監督下にあるから、告発先は国交省になる。

● II-13：正解は③

(ウ)と(エ)は誤った行動になる。(エ)は当然だが、(ウ)も「自分が辞めたとしても一般大衆への被害は避けられない。そして他の誰かが自分と同じ目にあう」と考えるべき。

● II-14：正解は③

これは技術者倫理の基本。技術士倫理綱領の3(有能性の重視)に、「技術士は、自分の力量が及ぶ範囲の業務を行い、確信のない業務には携わらない。」とある。

● II-15：正解は①

全て正しい。